

愛河

令和5年度
高雄日本人学校 学校だより
5月号
令和5年5月8日 TEL07-722-0537



◆ 校訓「高雄の子ども」 たくましい子 考える子 思いやりのある子 ◆

～ 新年度のスタートにあたって ～

はじめに、4月29日(土)に実施した授業参観及び保護者懇談会では、多くの保護者の皆様にお越しいただきありがとうございました。本校では、日頃から各学年で定期的に学級だよりを配信しておりますが、実際に授業中のお子様の様子を参観されたり、学級懇談を通してご家庭と学校とで情報を共有したりさせていただくことは、とても有意義なことであると存じます。今後も、定期にご来校の機会を設けていきますので、引き続きご来校くださるようよろしくお願いいたします。

さて、令和5年度も4月が終わり5月に入りました。小学部と中学部の新入生や編入児童生徒も、学級生活、授業、行事に少しずつ慣れてきたようです。また、昨年度から在籍している子供たちも、1つ上の学年に進級したことを自覚しながら、新たな気持ちで活動する姿に頼もしさを感じます。

そうした中、私たち教職員も一人一人の子供たちに寄り添いながら、少人数ならではの良さを活かして、子供たちにとって楽しく有意義な学校生活となるよう邁進してまいりますので、保護者の皆様におかれましても、引き続きご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

入学式

令和5年4月12日(水)、日本台湾交流協会高雄事務所 奥所長はじめ11名の来賓の皆様をお招きし、令和5年度入学式を挙行いたしました。今年度は、小学部に9名、中学部に11名の1年生が入学しました。やや緊張した面持ちでしたが、きちんとした態度で式に臨み、児童生徒からは呼名の後のよい返事も聞かれました。校長式辞では、主に次のことを話しました。

◆小学1年生へ

「たくましい子どもになりましょう。毎日元気に挨拶をして、自分の気持ちをきちんと伝えられるようにしましょう。」

◆中学1年生へ

「考えることのできる生徒になろう。自分で考える、友達と考える、みんなで考えることをとおして、新しい発見につなげ、確かな考える力を身に付けてください。」

◆全ての新入生のみなさんへ

校訓『高雄の子ども』の一つでもある、思いやりの心を大切にしてください。」

児童生徒はしっかりと耳を傾けて話を聞いていました。きっと、それぞれの目標に向かって、努力してくれるものと期待しています。何かわからないことがあれば、上級生の先輩や教職員に何でも質問しながら、新しい学校生活をスタートしてほしいと思います。小学部、中学部でたくさんの思い出を作ってください。





小学部 1 年



中学部 1 年

着任式・始業式

4月13日（木）、6名の新規派遣教員を迎える着任式を行いました（内2名はオンラインにて参加）。どの教員も高雄日本人学校の児童生徒との出会いの喜びを語っていました。子どもたちもこの日が来るのをとても楽しみにしており、児童生徒会長の玉木さんが歓迎の言葉を述べました。今年度も、6名の着任教員を含め全教職員で充実した教育活動に努めていきます。

そして、着任式に引き続いて、第1学期始業式を行いました。式の中では、校長からは「小1から中3までは大きく成長します。体だけでなく、心も成長します。思いやりの心が大きく育ち、全員が高雄日本人学校の児童生徒で良かったと思えるように過ごしてください。」と伝えました。

また、児童生徒副会長の関本さん、小学部6年生の勝又さん、中学部3年の上原さんからも、「一日一日を大切に過ごすこと」「自主学習を努力すること」「委員会活動などで後輩に上級生らしい姿を見せること」などについて発表がありました。壇上で話す3人は堂々としており、1学期の始まりにふさわしい立派な姿でした。

いよいよ令和5年度の1学期のスタートです。すべての学年の子どもたちの頑張りに期待しています。皆さんの力を合わせて、すばらしい高雄日本人学校を作り上げていきましょう。



～本の読み聞かせ～

各学級での教育活動に併せて、職員による本の読み聞かせも始まりました。子どもたちは目を輝かせて、お話に聞き入っています。「読書は心の栄養」です。ご家庭での読書の時間も増やしていきましょう。